

第31回 熊本県民アマチュアゴルフ選手権

シニア・Mシニア 第1戦

開催日：令和5年10月25日（水）

開催コース：司ロイヤルゴルフクラブ

本大会は日本ゴルフ協会ゴルフ規則（2023年1月施行）とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。

競技の条件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 競技終了地点

本競技は、競技委員の作成した順位表に競技委員長が署名した地点をもって終了とする。

ローカルルール

1. 使用ティは、シニア＝青ティーマーク、Mシニア＝白ティーマークとする。

2. アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

3. 修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。

線と杭が併用されている場合は、その線がその限界を標示する。

4. 排水溝は動かさない障害物とする。

5. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。

6. 電磁誘導カート用の2本の人工の表面を持つ軌道に限り、全幅をもってプレー禁止とする。カート道路沿いの裸地も道路の一部とみなす。

「球がこのカート道路の上にあるかスタンスがかかる場合、競技者はゴルフルール16.1aの救済を受けなければならない。このローカルルールの違反の罰は、2罰打」

7. レッドペナルティエリアは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。（6Hの球の救済についてはローカルルール14を参照）

8. 使用クラブの規格 セクション8ローカルルールひな型 G-1適合ドライバーヘッドリストを適用

9. 使用球の規格 セクション8ローカルルールひな型 G-3適合球リストを適用

10. ホールとホールの間での練習禁止 セクション8ローカルルールひな型 I-2を適用
ハーフターン待ち時間の練習は「指定練習グリーン」のみとする。

11. プレーの中断と再開

(1) プレーの中断については、ゴルフ規則5.7に従って処置すること

(2) 陰悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間をいたときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーしなければならない。そのあと委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったことが正当化する事情がなければその競技者は**競技失格**とする。

この条件の違反の罰は**競技失格**（ゴルフ規則5.7）

12. 移動 競技者は正規のラウンド中、乗用カートに乗車することが出来る。

13. 荒天や日没により、前半9ホールで競技成立の場合もある。

14. 6Hにて球が池に入った場合、ドロップゾーンより1罰打付加してプレーをしなければならない。13Hにて右側のネットに球がある場合やスタンスを取りスイングに妨げになる場合はドロップゾーンより無罰でプレーをしなければならない。

このローカルルールの違反は2罰打。

注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更があるときは、スターティングホールティーイングエリア付近に告示する。

2. グリーン保護のため、メタルスパイクシューズ及びタウン用シューズの使用を禁止する。必ずゴルフコース専用シューズに履き替えること。

3. 練習は指定練習場にて行い、打放し練習場においては備付けの球を使用しスタート前の練習は1人1箱（25球）とする。

4. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意すること。なお、プレーの進行を不当に遅らせた場合はペナルティーを課すことがある。

5. スタートの呼出は一切行なわない。
スタート時間5分前までにはティーイングエリア付近に待機のこと。

6. ドロップはひざの高さから真下にする。

7. 地面にくい込んだ球の救済はジェネラルエリア全域で認められる。

8. 球を捜し始めて3分以内に見つけることが出来なかつたら紛失球となる。

9. 救済を受ける場合、球の取替えは常に許される。

10. コース内では携帯電話機・スマートフォン通話使用を禁止する。ただし、緊急の場合は除く。

11. 距離測定器の使用は認めるが、高低差表示及び音声が出ないようにしておくこと。

競技委員長 河川 康広